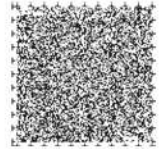


▼目の不自由な方のための音声コード



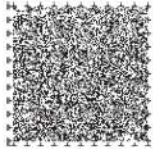
手話で広がる、
青春がある。

ぜん こく こう こう せい
だい かい
第9回 全国高校生
しゅ わ こう し えん
手話パフォーマンス甲子園

手話パフォーマンス甲子園実行委員会

実績報告書

Supported by  日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION



もくじ 目次

・ 開催概要	03
・ 大会スケジュール	04
・ 開会式	06
・ 出演者紹介	11
・ 表彰結果	12
・ 表彰内容	14
・ チーム演技	15
・ ゲストパフォーマンス/大会公式応援ソング	23
・ バリアフリー対策/新型コロナウイルス感染症対策	24
・ 会場の催し	25
・ 閉会式	26
・ 抱負動画	28
・ 青春メッセージ	29
・ 予選審査会	30
・ 広報	32
・ 本大会審査実施要領	34
・ 手話パフォーマンス甲子園実行委員会	35



記載されたQRコード
を読み取ると「手話パ
フォーマンス甲子園
☆動画チャンネル」で
動画を視聴するこ
とができます。



開催概要

本大会は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の為、一般観覧を中止しました。

● 目的

ろう者とろう者以外の者が互いを理解し共生することができる社会を築く「鳥取県手話言語条例」の理念を実現すべく、全国の高校生が手話言語を使った様々なパフォーマンスを繰り広げる場をつくり発信することにより、多くの人に手話言語の魅力や手話言語が優れた意思及び情報伝達手段であることを実感してもらうとともに、手話言語とパフォーマンスを通じた交流の推進及び地域の活性化に寄与することを目的に、「全国高校生手話パフォーマンス甲子園」を“手話の聖地”鳥取県で開催する。

● 日時

令和4年9月25日 9:30～16:10

● 会場

倉吉未来中心 大ホール
(鳥取県倉吉市駄経寺町212番地5)

● 開催方法

現地開催(一般観覧なし)

- ・会場の様子を、YouTubeでライブ配信を行いました。(配信は、音声ガイドありなしの2種類を用意しました。)
- ・会場への来場は、出場チーム及び関係団体のみとしました。

● ライブ配信視聴回数

合計18,000回超
(音声ガイドなし 13,000回 音声ガイドあり 5,000回)



● 主催

手話パフォーマンス甲子園実行委員会

● 共催

鳥取県、公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会

● 特別協力

一般財団法人全日本ろうあ連盟

● 特別協賛

日本財団

● 出場チーム

15チーム(16校)

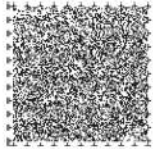
※令和4年5月16日(月)から7月1日(金)まで参加チームを募集したところ、30都府県から60チーム(60校)の参加申込みがありました。審査員4名が演技動画視聴による審査を行った後、7月28日(木)、29日(金)に予選審査結果についての審議を行い、地方ブロック枠6チーム、得点順枠8チーム、初出場枠1チームから選出の計15チームを選出しました。(合同チーム、開催地枠チームは該当なし)

● 皇室の御臨席

佳子内親王殿下に御臨席をいただき、おことばを賜りました。

● 高校生による大会づくり

演技司会、運営ボランティア、大会PRなどに多くの地元高校生が携わりました。

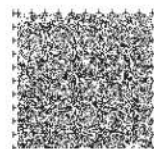


たい かい

大会スケジュール

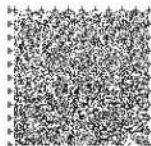
時刻	内容
9:30～	<p>開会式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主催者あいさつ ・おことば ・特別協力団体あいさつ ・特別協賛団体あいさつ ・出場チーム紹介 ・優勝旗返還 ・選手宣誓 <p>審査員紹介 審査方法紹介</p>
10:10～	<p>出場チームによるパフォーマンス(前半8チーム)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 群馬県立聾学校Bチーム(群馬県) 2 鳥取城北高等学校(鳥取県) 3 米子東高等学校(鳥取県) 4 田鶴浜高等学校(石川県) 5 金沢北陵高等学校(石川県) 6 鳴尾高等学校(兵庫県) 7 青森聾学校(青森県) 8 静岡城北高等学校(静岡県)
12:00～	休憩





時刻	内容
13:00～	<p>出場チームによるパフォーマンス(後半7チーム)</p> <p>9 松山聾学校(愛媛県)</p> <p>10 坂戸ろう学園・大宮ろう学園(埼玉県)</p> <p>11 横浜南陵高等学校(神奈川県)</p> <p>12 奈良県立ろう学校(奈良県)</p> <p>13 三井高等学校(福岡県)</p> <p>14 熊本聾学校(熊本県)</p> <p>15 鳥取聾学校(鳥取県)</p>
14:45～	<p>倉吉農業高等学校による郷土芸能「倉農太鼓」</p> <p>ゲストパフォーマンス 手話エンターテイメント発信団 oioi</p>
15:30～	<p>審査発表／表彰式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県聴覚障害者協会賞 ・日本財団賞 ・全日本ろうあ連盟賞 ・審査員特別賞 ・第3位 ・準優勝 ・優勝 ・手話パフォーマンス奨励賞 <p>審査員長講評 閉会あいさつ フィナーレ</p>
16:10	閉会





かい かい しき
開会式

しゅ さい しゃ

主催者あいさつ

手話パフォーマンス甲子園実行委員会 会長 **平井 伸治**



皆様おはようございます。

本日は佳子内親王殿下の御臨席を仰ぎ、ここ倉吉におきまして、第9回全国高校生手話パフォーマンス甲子園を挙行することが叶いましたこと、私どもにとりまして無常の喜びでございます。

また、全国各地からお越しをいただきました出場校の皆様、本当によろこおいでをいただきました。歓迎申し上げます。

また、併せましてお忙しい中にもかかわらず、今日この場に石野理事長、また尾形理事長、下垣理事長、広田市長はじめ、数多くのご来賓の方々にお越しをいただきました。誠にありがとうございます。

ここ鳥取県は平成25年10月、全国ではじめて手話言語条例を制定いたしました。

以来、“手話の聖地”と言われるようになっているところであります。

今日、この場に全国から高校生の皆さんが集まり、手話パフォーマンスの花を咲かせていただきますことを心から願っているところであります。

この度の台風15号、また一週間前の台風14号、さらに台風11号、こういう台風の災害におきまして、被災をされました皆様に対しまして、心からお見舞いを申し上げ、お悔やみを申し上げたいと思います。

昨日、夜になりまして横浜南陵の皆さんや、あるいは静岡城北の皆さんにはこちらの方にお越しになりましたが、台風によりまして影響を受けられました。大変な困難があったと思います。

さらに今、世界は新型コロナと戦っている最中であります。

御崩御されましたイギリスのエリザベス女王陛下がおっしゃっております。一致団結をして毅然と向き合っていけば、どんな困難でも打ち負かすことができるでしょう。私たちは皆ともに様々な困難と戦い、そして打ち負かしていかなければいけません。

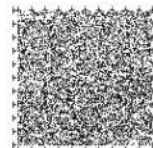
今日お集まりの若い皆さんは、未来を変える力があります。皆さんには今日、この場におきまして、パフォーマンスを披露していただくことによりまして、多くの方々が力を得ることができると思います。ここ鳥取県は名探偵コナンの町があったり、飛行場があります。今コロナの問題がありますが、こんなもんでも“名探偵コナン”が解決してくれると思います。

皆さんが頑張る様々な困難を打ち破り、乗り越えて行くことをお祈りを申し上げたいと思います。

是非とも優勝目指して頑張ってください。

結びにあたり、佳子内親王殿下の弥栄と、お集まりの皆様のご健勝をお祈りを申し上げましてあいさつといたします。

本日は本当にありがとうございました。



か こ ないしんのう でん か

佳子内親王殿下おことば



本日、「第9回全国高校生手話パフォーマンス甲子園」が開催され、皆様にお会いできましたことを大変うれしく思います。この大会は、昨年と一昨年は、コロナ禍の影響により、オンラインを活用して開催されてきましたが、本年は3年ぶりに鳥取県の会場に集まって開催されます。大会のために、主催者をはじめ、鳥取県の高校生、ボランティアの方々が一丸となって準備をしてこられたと伺っております。皆様のご尽力に心から敬意を表します。

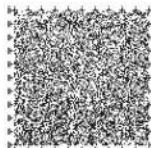
本年の予選には、60チームが参加しました。多くのチームの中から本戦出場を決められた15チームの皆様、おめでとうございます。コロナ禍の影響による様々な制約のもとでの練習には、大変なこともあったかと思います。そのような中、仲間で話し合い、何ができるか考え、力を合わせて練習してきたのではないのでしょうか。様々な工夫をしながらパフォーマンスを作りあげたことや、目標に向かって励んだことは、貴重な経験になったことと思います。これから皆様がパフォーマンスをする時、隣には今日まで一緒に頑張ってきた仲間がいます。客席から、またライブ配信を通して、皆様のパフォーマンスを楽しんでいる方々がいらっしゃいます。仲間と観客の思いや力を感じ、自分の思いや力も周りに伝えて、最高のパフォーマンスができるように、私も応援しております。

鳥取県では、全国に先駆けて手話言語条例が制定され、

手話の普及に向けた取り組みが活発に行われています。今年からは、小学生のための新しい取り組み「手話チャレ」が始まり、その動画を私も拝見しました。「手話チャレ」では、手話や、きこえない方、きこえにくい方について、自分がどれくらい理解できているか確認することができます。小学生が手話を学ぶときの道標となる、とても良い取り組みであると感じました。

様々な取り組みやこの大会を通して、手話言語に対する理解がより一層深まり、誰もが安心して暮らすことのできる社会に繋がっていくことを願っております。

終わりに、今回の大会が皆様にとって大切な思い出になるとともに、この会場にいらっしゃる方々、また、オンラインを通じて観ている多くの方々が、素晴らしいパフォーマンスを楽しまれることを願い、私の挨拶といたします。



かい かい しき
開会式

とく べつきょうりよくだんたい

● **特別協力団体あいさつ**

一般財団法人全日本ろうあ連盟 理事長

いしの ふじ さぶろう
石野 富志三郎



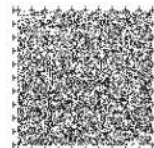
「第9回全国高校生手話パフォーマンス甲子園」が、関係者の皆様のご尽力により開催されますこと、心よりお慶び申し上げます。本日は、佳子内親王殿下の御臨席を賜りました。そして、本日、ここに集った皆様は、自分自身やチームの目標を掲げ、それに向けて毎日、ひたむきに努力し、さらなる高みへの挑戦を繰り返されたことと思います。今日はその成果を示す機会です。皆様の元気溢れるパフォーマンスを見られること、私は非常に楽しみにしています。

私たちは、100年近くの歴史を持つデフリンピックを日本の東京で開催できるよう、これまで招致運動を進めてきました。鳥取県からは今年7月に、招致と招致決定後の大会成功に向けた、選手キャンプ地設定の協力、大会運営のための人員などの応援など取り組みについて、「応援宣言」を頂いております。平井知事、誠にありがとうございます。そして、今年9月10日に、オーストリア・ウィーンで開催された国際ろう者スポーツ委員会総会にて、2025年デフリンピックの開催地は「東京」と正式に決定しました。デフリンピックを日本・東京で初めて開催することは、障がいのある人となない人とのコミュニケーション、そして情報バリアフリー、情報アクセシビリティを推進し、“誰一人取り残さない”世界(SDGs)の

実現へのさらなる前進となるものです。皆様の手話言語との出会い、そしてそのつながりが、2025年のデフリンピックや、その先の未来の社会づくりに活かされることを期待しています。

最後になりましたが、この全国高校生手話パフォーマンス甲子園への参加を目指された全国の高校生たち、そして出場を勝ちとった高校生のために、本大会の開催に日夜ご尽力されました鳥取県をはじめ、実行委員会、関係者の皆様にお礼を申し上げ、私の挨拶といたします。ありがとうございました。





とくべつきょうさんだんたい

特別協賛団体あいさつ

おがた たけじゅ
公益財団法人日本財団 理事長 尾形 武寿



皆さんこんにちは。私は、日本財団の尾形です。今日は秋篠宮佳子内親王殿下の御臨席を賜り、第9回全国高校生手話パフォーマンス甲子園が開催されたこと、誠にありがとうございます。

3年ぶりにみんなで集まって、そして対面で皆さんとこうして会うことができましたこと、本当に嬉しく思っております。コロナ禍で色んな制限もあり、また色んな不安も多々あったと思います。ですが、皆さんはこれまで一生懸命努力してこられたと思います。この大会が、皆さんにとって記憶に残る、素晴らしい大会になるでしょう。

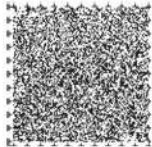
今日、チームパフォーマンスに点数がつきます。評価が色々つきます。ですが、まずはこの大会に出場できたことを喜び、そしてまた、今日力いっぱいすべてのものを表現するという意識でパフォーマンスを楽しんでいただきたいと思います。

日本財団は「みんながみんなを支える社会」の構築を目指しております。手話パフォーマンス甲子園をきっかけとして、より多くの人々が若い内に手話に親しみ、そして、きこえる人もきこえない人も一緒に暮らせるそんな社会を実現することに結びつくように期待いたしております。大会が終わっても是非継続して手話で表

現することの魅力を発信し続けてください。

皆さん、社会を変えることができるのは誰でしょうか。若い皆さんだけです。さあ頑張りましょう。誰のために、自分のため、チームのため、そして皆のため、さらには社会のために頑張りましょう。





かい かい しき 開会式

ゆうしょう き へんかん 優勝旗返還

奈良県立ろう学校(奈良県)

あたらし なな み
新 七海

昨年の第8回大会 優勝チーム 奈良県立ろう学校の
新 七海さんから、平井 伸治鳥取県知事へ優勝旗が
返還されました。平井知事からは、代わりに優勝盾が
新さんへ贈られました。



せんしゅせんせい 選手宣誓

熊本聾学校(熊本県)

いま いけ はあと
今池 大心

宣誓

私達はこの鳥取の舞台で行われる第9回全国高校
生手話パフォーマンス甲子園に出場いたします。
コロナ禍で厳しい状況もありましたが、この会場で多く
の仲間が手話を通して競い合えることに深い喜びを
感じています。

そして、本大会を目指して努力する姿が、全国に手
話を広げる大きな力になることを信じます。

私達は「手話は言語である」、そして「共生社会の
実現を目指す」というメッセージを全国に発信します。

大会実施に御尽力して下さった皆様に、そして私
達を支えて下さった全ての皆様に感謝し、全力でパ
フォーマンスすることを誓います。

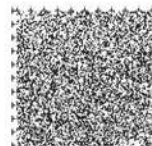
令和4年9月25日

選手代表

熊本聾学校 今池 大心



出演者紹介



えんぎしかいしゃ

演技司会者



はやせ けんたろう
早瀬 憲太郎さん

ろう児対象の国語専門学習塾
「早瀬道場」塾長・映画監督
元NHKみんなの手話講師
デフリンピック2013・2017・2022
自転車競技日本代表(3大会連続)



いざわ ここみ
伊澤 心美さん

米子高等学校2年
放送部、JRC部所属



やたき ゆらこ
矢瀧 ゆらさん

米子高等学校2年
JRC部所属



むらかみ しんご
村上 真吾さん

NHK鳥取放送局
アナウンサー

そうごうしかいしゃ

総合司会者

しんさいん

審査員



ろう者

しょうざき たかし
庄崎 隆志さん

演出家・俳優

審査員長



ろう者

おおたけ こうじ
大竹 浩司さん

一般財団法人
全日本ろうあ連盟
副理事長



ろう者

かわい ゆみこ
河合 祐三子さん

俳優／手話・身体表現
ワークショップ講師



聞こえる人

かど ひでひこ
門 秀彦さん

絵かき



聞こえる人

あらかわ たかよ
荒川 貴代さん

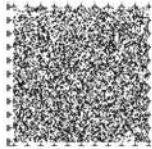
演出家



聞こえる人

たなか だいすけ
田中 大介さん

鳥取大学
地域学部 准教授



ゆうしょう

優勝

坂戸ろう学園・ 大宮ろう学園(埼玉県)

- 演技タイトル / 夜明けのカラフル
- 演技内容 / 演劇・ポエム
- 審査得点 / 289点
- 演技順 / 10



じゅんゆうしょう

準優勝

奈良県立ろう学校(奈良県)

- 演技タイトル / 青い鳥
- 演技内容 / 演劇
- 審査得点 / 285点
- 演技順 / 12



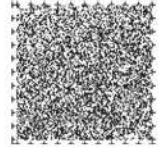
だい い

第3位

松山聾学校(愛媛県)

- 演技タイトル / 私たちの“ことば”
- 演技内容 / 演劇
- 審査得点 / 268点
- 演技順 / 9





しん さ いん とく べつしやう

● 審査員特別賞

青森聾学校(青森県)

- 演技タイトル / 世にもズレてる物語
- 演技内容 / 演劇・コント
- 演技順 / 7



ぜん に ほん れんめいしやう

● 全日本ろうあ連盟賞

横浜南陵高等学校(神奈川県)

- 演技タイトル / 十花十色～みんな違ってみんないい～
- 演技内容 / 演劇
- 演技順 / 11



にっぽんざい だんしやう

● 日本財団賞

熊本聾学校(熊本県)

- 演技タイトル / 『その手が生み出すもの』
- 演技内容 / 演劇
- 演技順 / 14



とつ とり けんちやうかくしやうがい しゃきやうかいしやう

● 鳥取県聴覚障害者協会賞

鳥取聾学校(鳥取県)

- 演技タイトル / 禍を転じて手話を聴く～五感でつながる私たちの絆～
- 演技内容 / 演劇
- 演技順 / 15

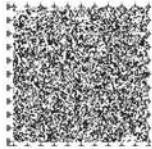


しゅ わ

しやうれいしやう

● 手話パフォーマンス奨励賞

前記以外の本大会出場チームに手話パフォーマンス奨励賞を授与しました。



表彰内容

しょうじょう 賞状



優勝、準優勝、第3位、審査員特別賞、全日本ろうあ連盟賞、日本財団賞、鳥取県聴覚障害者協会賞、手話パフォーマンス奨励賞

ゆうしょうき 優勝旗



たて 盾



優勝



準優勝



第3位

優勝、準優勝、第3位、審査員特別賞、全日本ろうあ連盟賞、日本財団賞、鳥取県聴覚障害者協会賞、手話パフォーマンス奨励賞

メダル



優勝、準優勝、第3位の選手全員に授与(鳥取砂丘にちなみ“砂のメダル”を授与)

ふくしょう 副賞

優勝、準優勝、第3位、審査員特別賞、全日本ろうあ連盟賞、日本財団賞、鳥取県聴覚障害者協会賞、手話パフォーマンス奨励賞受賞チームそれぞれに副賞が贈られました。